

令和5年度
北名古屋市教育委員会基本方針

北名古屋市教育部

学校教育課

1 基本方針

学校教育は、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、国家及び社会の有為な形成者としての資質の育成を目標として行うものである。

その実現には、「自ら高めること」と「社会の担い手になること」を基本とし、ふるさと北名古屋の文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性及び「知・徳・体」にわたる生き抜く力を育む学校教育を推進する。

2 重点目標

- (1) 自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育む。
 - ア 主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実
 - 主体的・対話的で深い学びの推進
 - 個別最適な学びの保障
 - イ 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進
 - 情報活用能力の育成
 - ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現
 - 子どもの学びや教職員を支えるICT教育環境の充実
 - ウ 特別支援教育の充実
 - 多様な学びの場における支援・指導の充実
 - 教員の専門性の向上
- (2) 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、実践力を伴った道徳性・社会性を育む。
 - ア 人権教育・多様性理解の推進
 - 学校等における人権教育・多様性理解の推進
 - イ 道徳教育の充実
 - 「特別の教科 道徳」を核にした道徳教育の推進
 - 差別や偏見を許さない、命を大切にする教育の充実
 - 情報モラル教育の充実
 - ウ いじめへの対応の充実
 - いじめを起こさせない指導の充実と児童生徒の社会性の育成
 - 早期発見・早期対応のための取組
 - 教育相談体制の充実
 - 学校と関係機関との連携
 - エ 不登校児童生徒への対応の充実

- 学校等の取組の充実
 - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの協力、教育相談体制の充実
 - 多様な教育機会の確保
- (3) 健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく生きる力を育む。
- ア 学校体育・生涯スポーツの充実
 - 学校体育の充実による体力の向上
 - 学校や地域におけるスポーツ機会の充実
 - 学校部活動と地域スポーツの在り方の検討
 - イ 健康教育・食育の推進
 - 心身の健康づくりの充実
 - 学校等における食育の充実
- (4) 社会の発展を支える人を育む。
- ア 社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進
 - 発達段階の成長課題に応じたキャリア教育の充実
- (5) 世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育む。
- ア グローバル社会への対応の推進
 - 多文化共生に向けた教育の充実
 - イ 外国語教育の充実
 - 英語教育等の充実
 - 教員の研修の充実
 - ウ 日本語指導が必要な児童生徒等への支援の充実
 - 外国人児童生徒の教育の位置付けの明確化
 - 日本語指導に関わる教員の資質向上
- (6) 子どもの意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進める。
- ア 学校における働き方改革
 - 学校の役割の明確化及び教職員の職務の見直し
 - 業務の精選と切り離し・外部人材の活用
 - 部活動の在り方の見直し
 - ICTの活用による業務改善
 - イ 学校施設・設備の充実
 - 学校施設の防災機能の強化及び計画的・効果的な長寿命化の推進
 - 快適な教育環境の実現
 - ICT機器等の教育環境の設備の推進
- (7) 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子どもたちが安全・安心に学べることを保障する。

ア 大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障

- ICTを活用した学びの保障
- 心のケア実施体制の充実
- 学校保健衛生対策の充実
- 各学校における危機管理マニュアル等の見直し

イ 学校安全・防災教育の推進

- 学校安全・防災に向けた実践的な活動の充実
- 学校安全・防災に関する学びの充実と人材の育成

生涯学習課

1 基本方針

本市では、「北名古屋教育推進スキーム・生涯学習編（2019年度～2023年度）」を作成し、新たな目標を掲げ、実りある生涯学習施策に取り組んでいる。

人生100年時代において、SDGs（持続可能な開発目標）を基本に据えた知識や技術を、生涯を通じて身につける必要がある。

令和元年から人々の学びの機会を阻害してきた新型コロナウイルス感染症は、新たなステージを迎える兆しが見えてきた。コロナ禍にあって急速に発展したデジタル化と対極にある人と人とのふれあいを両輪とし、新たに求められる文化・芸術や生涯学習事業を提供するとともに、文化勤労会館、図書館・歴史民俗資料館をより一層親しまれる場として展開していく。

2 重点目標

(1) 夢と志を持ち、可能性に挑戦し生き抜くために必要な力を育成する。

ア 学びへの参加のきっかけづくりの推進

学びと活動が、人の内面の成長や充実した人生、豊かな地域づくりにつながることから、様々な学習機会の提供に加え、参加のきっかけづくりを推進する。

イ 多様な団体等との連携・協働の推進

地域の創生には多様な団体等との連携・協働が不可欠なことから、それぞれの団体等が有している学習資源を活用することで、WIN-WINの関係づくりを目指す。

(2) 生涯学び、成長し、活躍できる環境を整える。

ア 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

全ての市民が、生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、「学び」と「活動」の生涯学習を提供し、実りあるライフスタイルを形成する。

イ 社会人のリカレント教育の推進

学びたい人がいつでも学ぶことができ、必要に応じて学習に参加できる再教育（学び直し）システムの構築を進める。

ウ 新しい時代に向けた社会教育施設の有効活用

人づくりや地域づくりを支援する施設として、また、大勢の集客を呼べる施設として、利用しやすく親しまれる施設運営を目指す。

(3) 教育政策推進のための基盤を整備する。

ア 安全・安心で質の高い放課後児童対策の推進

子育て世代の働き方を支援するため、また放課後の安心・安全な居場所を確保するため、児童クラブとともに進めている放課後子ども教室の充実を図る。

イ 土曜学習の推進

子どもたちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けて、地域、団体等の協力を

得て、持続可能で有意義な土曜学習を推進する。

スポーツ課

1 基本方針

国の「第3期スポーツ基本計画」は、今後のスポーツの在り方を見据え、令和4年度から令和8年度までの5年間で国等が取り組むべき、施策や目標等を定めた計画となっており、年齢や体力レベル、障害の有無などの個人差や、地域の経済、環境などの違いがあっても、すべての人がさまざまな形でスポーツに参画できる社会にするためのビジョンを設けている。

本市においては、「第2次北名古屋市総合計画」、「第2期北名古屋市教育大綱」及び「第2期北名古屋教育推進スキーム」の理念を踏まえ、地域に根ざした健康で活力に満ちたスポーツ及びレクリエーション活動を推進するため、基本方針を「誰もがスポーツに親しみ、健康と絆を育むスポーツ環境を整える」と定め、運動機会がコロナ禍以前の水準に戻るよう、スポーツ関係団体とも連携しながら各種事業に取り組む。

2 重点目標

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、市民の誰もが各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。

(2) スポーツ実施率の向上

これまでスポーツに関わってこなかった人が気軽にスポーツに親しめるようなスポーツのスタイルを提案し、成人のスポーツ未実施者（1年間に一度もスポーツをしない者）の数がゼロに近づくことを目指す。

(3) スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

スポーツに関わる人材の全体像を把握しつつ、指導者、専門スタッフ、審判員、経営人材等、スポーツ活動を支える人材の育成と活躍の場の確保を図ることにより、スポーツ参画人口の拡大に向けた環境を整備する。

(4) スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用の促進

市民のスポーツ参画人口を増加させるため、スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用を促進する。